

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産の建物、建物附属設備、什器備品及び機械装置は定額法によっている。
- ・無形固定資産は定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (4) リース取引の処理方法

##### ・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	8,000,000	0	0	8,000,000
小 計	8,000,000	0	0	8,000,000
特定資産				
秩父宮記念基金	15,200,000	0	0	15,200,000
海外登山基金(注1)	10,537,822	0	248,030	10,289,792
遭難防止事業基金	10,000,000	0	0	10,000,000
長期計画準備金(注2)	29,576,722	0	4,590,000	24,986,722
退職給付引当資産	6,235,563	377,045	0	6,612,608
三宅島緑化特定資産	149,485	0	149,485	0
図書管理特定資産(注3)	784,000	0	216,000	568,000
施設整備特定資産	2,259,812	0	0	2,259,812
小 計	74,743,404	377,045	5,203,515	69,916,934
合 計	82,743,404	377,045	5,203,515	77,916,934

(注1) 海外登山基金は、本会又は外部団体の海外登山等の助成金及び120周年記念事業を対象とする助成金支出に充てるために保有するものである。当年度は三国学生交流登山の費用に充てるための助成額を取り崩している。

(注2) 長期計画準備金については、上高地山岳研究所建物など本会資産の再取得または修繕に備えるために保有するものである。当年度は屋根・外壁塗装及び受水槽の更新に係る支出額を取り崩している。

(注3) 図書管理特定資産は、本部図書室の設備、備品などの更新または修繕に備えるために保有するものである。当年度は図書管理ソフトウェアに係る保守料相当額を取り崩している。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	8,000,000	(8,000,000)	—	—
小 計	8,000,000	(8,000,000)	—	—
特定資産				
秩父宮記念基金	15,200,000	(15,200,000)	—	—
海外登山基金	10,289,792	—	(10,289,792)	—
遭難防止事業基金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
長期計画準備金	24,986,722	—	(24,986,722)	—
退職給付引当資産	6,612,608	—	—	(6,612,608)
図書管理特定資産	568,000	(568,000)	—	—
施設整備特定資産	2,259,812	(2,259,812)	—	—
小 計	69,916,934	(28,027,812)	(35,276,514)	(6,612,608)
合 計	77,916,934	(36,027,812)	(35,276,514)	(6,612,608)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物			
事務所	50,662,465	33,556,686	17,105,779
上高地山岳研究所建物	118,000,000	93,642,911	24,357,089
広島支部ルーム	3,945,694	1,453,676	2,492,018
静岡支部文殊山荘	1	0	1
建物附属設備			
広島支部ルーム	1,211,700	1,060,234	151,466
自動火災報知器(山研)	993,600	289,800	703,800
給排水設備(山研)	5,184,000	1,215,648	3,968,352
テラス(山研)	1,188,000	514,800	673,200
受水槽(山研)	1,566,000	43,717	1,522,283
屋根・外壁塗装(山研)	3,024,000	302,400	2,721,600
照明設備	708,779	79,146	629,633
什器備品			
液晶テレビ(山研)	121,800	121,799	1
給湯設備(山研)	413,532	132,364	281,168
エアコン	1,050,000	444,675	605,325
機械装置			
ミニ水力発電装置(山研)	3,816,750	3,334,877	481,873
水道施設利用権			
上高地山岳研究所	1,600,000	473,466	1,126,534
合 計	193,486,321	136,666,199	56,820,122

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
ウェストン祭	松本市	0	200,000	200,000	0	—
高山植物盗掘パトロール	北海道	0	347,623	347,623	0	—
山岳レインジャー事業	山梨県	0	127,600	127,600	0	—
合計		0	675,223	675,223	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産受取利息計上による振替額	2,519
基本財産受取利息計上による振替額	893
受取補助金等計上による振替額	149,485
受取寄附金計上による振替額	216,000
合計	368,897

7. 資産除去債務関係

上高地山岳研究所に係る土地の借地契約に伴う原状回復義務を資産除去債務として認識しているが、使用期間が明確でなく、現在のところ施設の撤去並びに退去も予定していないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができないため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,235,563	377,045	0	0	6,612,608

退職給付引当金の計上基準は、財務諸表に対する注記 1. 重要な会計方針の(3)に記載している。